

第8次熊本・上益城地域保健医療計画における 令和6年度（2024年度）の取組状況について

～上益城地域編～

熊本県御船保健所

地域計画の重点項目について

<熊本市の重点取組項目> 13項目(共通項目6項目)

- 1 より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善
- 2 生活習慣病の早期発見・対策
- 3 生活機能の維持・向上
- 4 医療機能の適切な分化と連携【共通】
- 5 外来医療に係る医療提供体制の確保
【共通】
- 6 がん(新規)
- 7 糖尿病
- 8 精神疾患
- 9 在宅医療【共通】
- 10 救急医療【共通】
- 11 災害医療【共通】
- 12 新興感染症発生・まん延時における医療
【共通】(新規)
- 13 健康危機管理に関する体制

<上益城の重点取組項目> 10項目(共通項目6項目)

- 1 より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善
- 2 医療機能の適切な分化と連携【共通】
- 3 外来医療に係る医療提供体制の確保
【共通】
- 4 在宅医療【共通】
- 5 救急医療【共通】
- 6 救急医療(山都救急医療圏)
- 7 災害医療【共通】
- 8 新興感染症発生・まん延時における医療
【共通】(新規)
- 9 へき地の医療
- 10 健康危機管理に関する体制

(1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	1 より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善 (地域計画P54)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養・食生活に関する会議等を開催し、管内各町と協働で食に関する環境整備や食育の推進をはじめ、地域の課題等を共有した取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ◆管内栄養・食生活担当者会議（1回） ◆管内行政栄養士研修会（2回） ◆健康食生活・食育推進検討会（1回） ・ 食生活改善推進員連絡協議会御船支部の活動支援を通じた食育の普及啓発。 ・ 上益城地域歯科保健連絡会及び幹事会（乳幼児期・学齢期対策部会、成年期・高齢期対策部会）において、フッ化物洗口の推進、むし歯・歯肉炎予防、歯周病検診、在宅療養者の口腔状態スクリーニング等の推進について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内町が関係機関とともに、地域の健康問題や食育活動の方向性を共有し、相互に連携した取組等を支援することで、食育の充実強化を図る。 ・ 事業所や関係団体等と連携し、職域分野における健康経営等の取組や健康教育の充実のための支援を行う。 ・ 虫歯予防や歯肉炎予防に取り組む関係団体を支援し、地域内の歯科保健の推進を図る。
県（参考）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「熊本県民食生活指針」を策定し、普及啓発を実施。 ・ 「くまもとスマートライフアプリ」を活用したウォーキングキャンペーンや健康イベントを開催。（アプリ登録数 40,108人 R6.11月末現在）。 ・ 小中学校・高等学校・特別支援学校等の担当者を対象に、食育、喫煙、飲酒防止教育に関する研修を実施。 ・ 児童、生徒を対象に、たばこに関する出前講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関・団体と連携し、あらゆる機会を活用し「熊本県民食生活指針」を推進するための食育活動を展開。 ・ 適度な運動を推進するための啓発を行うとともに、くまもとスマートライフアプリ等の活用促進を図り、企業や市町村等あらゆる世代が適度な運動に取り組める環境整備を実施。 ・ 喫煙の健康への影響等についての普及啓発や情報発信を行うとともに、禁煙希望者を支援するための情報提供を実施。

施策の柱

2

地域でいつまでも安心して暮らせる保健医療の提供

(1) 住民・患者の立場に立った保健医療施策の推進

◎は熊本・上益城地域の共通項目

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	2 医療機能の適切な分化と連携 ◎ (地域計画P55)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本・上益城地域医療構想調整会議において、医療機関の役割分担や連携強化について協議。 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本・上益城地域医療構想調整会議において、一層の医療機関の役割分担の促進や医療機関間の連携強化に向けた協議を継続。
県(参考)		<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療連携体制検討協議会や5疾病等に係る医療検討推進会議、県及び各圏域の地域医療構想調整会議等において、医療機関の役割分担や連携強化について協議。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の会議等において、一層の医療機関の役割分担の促進や医療機関間の連携強化に向けた協議を継続。
上益城	3 外来医療に係る医療提供体制の確保 ◎ (地域計画P56)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本・上益城地域医療構想調整会議において、紹介受診重点医療機関について協議。 新規開業者に対して、地域で不足する外来医療機能に協力を依頼（意向確認）。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想調整会議において、より一層の医療機関の役割分担の促進や医療機関間の連携強化に向けた協議を継続。 新規開業者に対する、外来医療機能に関する意向確認を継続。
県(参考)		<ul style="list-style-type: none"> 県及び各圏域の地域医療構想調整会議における協議により、18医療機関を紹介受診重点医療機関として選定。 地域の実情を踏まえ、合計70人の医師を地域の医療機関へ派遣。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想調整会議において、より一層の医療機関の役割分担の促進や医療機関間の連携強化に向けた協議を継続。 医師確保が特に厳しいへき地等の医療機関に対する派遣数を増やす必要がある。

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

◎は熊本・上益城地域の共通項目 ★は5疾病6事業及び在宅医療

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城		<ul style="list-style-type: none"> ・上益城地域在宅医療サポートセンターによる管内5町の医療・介護関係者を対象とした研修会（年5回）及び地域住民を対象とした町民公開講座を開催（R7.2月）。 ・上益城地域在宅医療サポートセンターを中心に、上益城版エンディングノートを作成。 ・上益城在宅医療連携体制地域会議（参加者数36名）を開催し、入退院支援や日常の療養支援等の地域課題について、現状把握及び対応策を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上益城地域在宅医療サポートセンターや管内5町と連携し、上益城地域の実情に応じた在宅医療提供体制の充実強化を図る。 ・上益城版エンディングノート等を活用して、ACPの普及啓発を図る。 ・上益城在宅医療連携体制地域会議の開催を通じて、地域の関係者ととともに上益城地域の実情に応じた連携体制を構築する。
県(参考)	4 在宅医療 ◎★ (地域計画P57)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンター（1箇所）や地域在宅医療サポートセンター（18箇所）が行う在宅医療の充実や人材育成、住民への普及啓発に係る取組を支援。 ・訪問看護総合支援センターが行う訪問看護ステーションの経営強化や人材確保、質の向上に係る取組を支援。 ・各圏域で在宅医療連携体制検討地域会議を開催し、地域課題やその対応策等を検討。 ・出前講座や啓発動画等を通じた情報提供に取り組むとともに、訪問診療車両に掲示できる在宅医療マグネシートを作成し、配布。 ・在宅医療を行う医療機関等を登録し、在宅医療ステッカーを掲示することで県民へ周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンター及び地域在宅医療サポートセンターと連携し、地域の実情に応じた在宅医療提供体制の充実強化。 ・県内全域で安定的な訪問看護サービス提供ができるよう、訪問看護総合支援センターと連携した訪問看護ステーション等への支援を継続。 ・在宅医療連携体制検討地域会議の開催等を通じて地域の実情に応じた連携体制の構築等に取り組む。 ・在宅医療を実施している医療機関等を広く県民に周知。

施策の柱

2 地域でいつまでも安心して暮らせる保健医療の提供

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

◎は熊本・上益城地域の共通項目 ★は5疾病6事業及び在宅医療

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	5・6 救急医療 ◎★ (地域計画 P59~61)	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本中央救急医療圏救急医療専門部会において、救急告示医療機関の更新状況や働き方改革による救急医療体制の影響等について情報を共有。 ・救急安心センター事業等について管内各町及び医療機関あてに周知。 ・山都救急医療圏救急医療専門部会を開催し、救急告示医療機関の更新について協議（更新済）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、熊本中央救急医療圏救急医療専門部会を通じ、救急医療体制の確保、関係機関の連携強化を図る。 ・救急車の適正利用について、引き続き県民への啓発活動を実施。 ・山都救急医療圏救急医療専門部会等の開催により、消防機関及び医療機関等の関係者が地域の現状や課題を共有し、引き続き、連携体制の構築を図る。
県(参考)	※山都救急医療圏については上益城地域の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・休日夜間急患センター、準夜間急患センター、在宅当番医制（10圏域）、救急告示診療所（4施設）を整備。 ・救急告示病院の認定や病院群輪番制病院5病院に対し、施設・設備の整備を支援した。 ・ヘリ救急搬送運航調整委員会症例検討部会等を開催し、ヘリ運航について協議。また、ドクターヘリ運航に係る経費を支援。《R6年度搬送実績：389件（4.1~11.30）》 ・#7119を開始し、広報誌や報道機関を通して周知するとともに、救急車の適正利用について啓発を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療専門部会等を通じ、救急告示病院等の認定や関係機関の連携強化を促進。 ・病院群輪番制病院等の施設・設備の整備を支援。 ・救急・災害医療提供体制検討委員会等を通じ、二次・三次救急医療機関間の連携強化を促進。 ・ヘリ救急搬送運航調整委員会症例検討部会の開催などを通じ、関係機関の連携強化を促進。 ・救急車の適正利用について引き続き県民への啓発を実施。

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

◎は熊本・上益城地域の共通項目 ★は5疾病6事業及び在宅医療

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	7 災害医療 ◎★ (地域計画 P62~63)	<ul style="list-style-type: none"> ・上益城地域災害保健医療福祉対策会議を開催（参加者数46名）。 ・上益城地域災害医療サポートチーム員名簿を更新。 ・医療機関等を対象とした広域災害・救急医療情報システム（EMIS）入力研修会を開催（参加者22名）。 ・職員参集訓練に併せて部内災害初動対応訓練を実施し、災害時アクションカードに沿った初動対応を確認（参加者30名）。 ・民間企業と協働して「保健所運営災害対応ゲーム（KIZUKI）」を作成中。ゲームを活用した部内研修会を開催予定（3月）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上益城地域災害保健医療福祉対策会議を通じ、平時から地域の災害保健医療福祉提供体制を強化。 ・上益城地域災害医療サポートチーム員と連携した災害時の情報収集体制を整備。 ・部内災害初動対応訓練を継続実施。 ・「保健所運営災害対応ゲーム（KIZUKI）」を通じ、部内職員の災害対応力の向上を図る。
県		<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネート研修を実施（参加者数13名）。 ・保健医療調整部門やDMAT調整本部等の立ち上げや運営に係る訓練、各保健所におけるEMIS操作研修や衛星電話伝達訓練を実施。 ・BCP策定促進のための研修会を実施（35病院参加）。 ・災害拠点病院の機能強化（医療機器や緊急車両の購入）を支援（2施設）。 ・DPAT先遣隊研修等の受講支援、県主催研修を実施。（熊本DPAT登録数：22チームR6.11月末現在） ・災害時の初動医療に必要な医薬品等について、98品目・約4,000人分を県内4箇所に分散して備蓄。県薬剤師会と連携し4回の研修会を実施。 ・災害薬事コーディネーター養成研修を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネート研修等を通じ、県全体及び地域の災害医療コーディネート体制を強化。 ・災害対応訓練等を継続実施。 ・BCP未策定病院を対象とした研修会を開催。 ・国庫補助制度を活用し、災害拠点病院の機能強化を支援。 ・備蓄医薬品の適正管理等の事業を継続実施。 ・DPAT先遣隊研修等の受講支援や県主催研修を継続実施。 ・災害薬事コーディネーター養成研修を継続実施。

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

◎は熊本・上益城地域の共通項目 ★は5疾病6事業及び在宅医療

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	8 新興感染症発生・まん延時における医療 ◎★ (地域計画P64)	<ul style="list-style-type: none"> ・山都救急医療圏救急医療専門部会において、保健所における健康危機対処計画（案）に対する意見を聴取。各委員からの意見を反映させたうえで、御船保健所健康危機対処計画を策定（R7.2月予定）。 ・一類感染症患者対応等訓練の実施（阿蘇圏域と合同開催）。 ・「熊本県感染症対策連携協議会」において、感染症予防計画の取組状況等について協議を行う予定。（R7.3月予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康危機対処計画に基づき、新興感染症の発生に備えた保健所における支援体制の強化を図る。 ・医療機関や消防機関等の関係機関との連携体制の強化を図る。 ・感染症対応訓練の継続実施。 ・今後も定期的に開催される「熊本県感染症対策連携協議会」等において、関係団体との連携を図る。
県(参考)		<ul style="list-style-type: none"> ・病院・診療所・薬局・訪問看護事業所と医療措置協定を締結。流行初期の病床確保は596床（R6.12.1時点）。 ・後方支援医療機関171機関（R6.12.1時点）と医療措置協定を締結。 ・自宅療養者への医療提供を行う医療機関（病院・薬局・訪問看護事業所）1,163機関（R6.12.1時点）と医療措置協定を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流行初期以降の病床数確保に向けて、医療機関等への協定締結の働きかけを継続実施。 ・感染症対策連携協議会等において平時から連携を強化し、各機関の役割分担や具体的な運用について協議を実施。

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

★は5疾病6事業及び在宅医療

	項目	令和6年度の主な取組・成果	今後の課題・方向性
上益城	9 へき地の医療 ★ (地域計画P65)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法に基づく立入検査において、へき地医療拠点病院によるへき地診療所への医師の派遣状況を確認。 ・ICTを活用した遠隔診療（医療MaaS(マース)事業）の運営について地元自治体に助言を行い、円滑な遠隔診療の運営開始に向けて支援を実施。遠隔診療の運営に係る産・官・民の相互連携に寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所が安定的に運営できるよう、現状・課題の把握を継続。 ・医師の確保や遠隔診療等について、医療機関や地元自治体のニーズに応じた支援を継続。
県(参考)		<ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療機関等への運営費（16医療機関）、施設整備費（1医療機関）及び設備整備費（9医療機関）について助成。 ・へき地医療拠点病院や社会医療法人からへき地医療機関への医師派遣調整（マッチング）を行い、12医療機関における医師の確保に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地医療機関等への支援を継続。 ・派遣先・派遣元との医師派遣調整（マッチング）を行い、医療従事者の確保を推進。

(1) 健康危機管理に関する体制

	項目	令和6年度の主な取組み・成果	今後の課題・方向性
上益城	10 健康危機管理に対する体制 (地域計画P66)	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理に係る局内の緊急連絡体制を構築。 健康危機管理に係る部内研修会を開催（参加者32名）。 高病原性鳥インフルエンザ防疫支援に係る部内研修会を実施（参加者38名）。 県健康危機管理課が主催する健康危機に関する各種研修会に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡体制を維持しながら、会議等を通じて、上益城地域における関係機関との連携体制を確保し、健康危機の発生に備える。 各種研修会・訓練を継続して実施することで、健康危機発生時の対応力向上を図る。 県健康危機管理課主催の各種研修会・訓練に参加し、健康危機発生時の対応能力の向上を図る。
県(参考)		<ul style="list-style-type: none"> 九州・山口各県健康危機管理連携会議により、連携体制の確認、健康危機管理に係る課題の共有等を実施。 FEITや保健所職員を対象とした研修会を実施し、健康危機発生に備えた。 九州・山口各県との健康危機管理に関する情報伝達訓練や、パンデミック感染症をテーマにした保健所合同訓練を実施。 DHEAT研修等に職員を派遣し、災害発生時の対応能力の向上につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催や緊急連絡網を整備し、本庁や各地域における関係機関との連携、国や九州・山口各県との広域連携体制を常に確保することで、健康危機の発生に備える。 健康危機発生時の対応力の向上のため、各種マニュアル等の充実、専門研修の開催、外部研修への職員派遣、訓練等を実施。